



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 東京産業株式会社

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平野 章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 須藤 隆志

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-5203-7841

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	120,479	53.2	611	141.4	749	106.9	315	70.0
23年3月期第2四半期	78,636	45.0	253	174.4	362	97.8	185	109.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 38百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △158百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.75	—
23年3月期第2四半期	6.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,171		16,130			48.6
23年3月期	32,245		16,287			50.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,130百万円 23年3月期 16,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	47.4	1,000	35.9	1,170	31.7	430	16.4	16.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	28,678,486 株	23年3月期	28,678,486 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,817,540 株	23年3月期	1,816,605 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	26,861,399 株	23年3月期2Q	26,864,890 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
4. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
(7) 重要な後発事象 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生により、サプライチェーンの寸断による減産や、個人消費の冷え込みなどで急速な落ち込みとなりましたが、その後、サプライチェーンの急速な復旧により供給体制が整いつつあり、輸出や個人消費も徐々に回復の動きを見せてきております。

一方で、ギリシャに端を発する欧州の金融システムに対する不安や、高い失業率等から先行きの見えない米国等、海外経済の減速の恐れから円高は進行し、また株価も下落傾向にあり、依然として先行きは不透明であるため、厳しい状況が続いております。

こうした情勢のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ1,309億25百万円増加の1,923億54百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,204億79百万円と前年同四半期を418億43百万円（前年同四半期比53.2%）上回ることとなりました。

売上総利益は28億66百万円（前年同四半期比3億79百万円増、15.3%増）、営業利益6億11百万円（前年同四半期比3億58百万円増、141.4%増）、経常利益7億49百万円（前年同四半期比3億87百万円増、106.9%増）、四半期純利益3億15百万円（前年同四半期比1億29百万円増、70.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

受注及び販売の状況  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	170,081 (42,962)	88.4 (69.9)	127,118	100,910 (59,738)	83.8 (76.0)	41,171	212,556 (151,115)	88.8 (84.6)	61,441
化学機械 関連部門	11,385 (7,283)	5.9 (11.9)	4,101	8,426 (6,916)	7.0 (8.8)	1,509	7,086 (4,198)	3.0 (2.3)	2,888
電子精機 関連部門	6,194 (5,268)	3.2 (8.6)	926	5,436 (4,632)	4.5 (5.9)	803	6,058 (3,360)	2.5 (1.9)	2,697
環境・船舶 関連部門	2,677 (4,669)	1.4 (7.6)	△1,991	3,873 (6,487)	3.2 (8.2)	△2,613	11,782 (18,980)	4.9 (10.6)	△7,198
その他	2,015 (1,244)	1.1 (2.0)	770	1,832 (860)	1.5 (1.1)	972	2,003 (1,036)	0.8 (0.6)	967
合計	192,354 (61,429)	100.0 (100.0)	130,925	120,479 (78,636)	100.0 (100.0)	41,843	239,487 (178,691)	100.0 (100.0)	60,796

## (電力関連部門)

売上高は1,009億10百万円と前年同四半期に比べ411億71百万円の増加となっております。また、成約高は1,700億81百万円（前年同四半期比1,271億18百万円増）、成約残高は2,125億56百万円（前年同四半期比614億41百万円増）となり、営業利益は2億20百万円（前年同四半期比17百万円減）となりました。

## (化学機械関連部門)

売上高は84億26百万円と前年同四半期に比べ15億9百万円の増加となっております。また、成約高は113億85百万円(前年同四半期比41億1百万円増)、成約残高は70億86百万円(前年同四半期比28億88百万円増)となり、営業利益は2億5百万円(前年同四半期比2億26百万円増)となりました。

## (電子精機関連部門)

売上高は54億36百万円と前年同四半期に比べ8億3百万円の増加となっております。また、成約高は61億94百万円(前年同四半期比9億26百万円増)、成約残高は60億58百万円(前年同四半期比26億97百万円増)となり、営業利益は1億32百万円(前年同四半期比19百万円減)となりました。

## (環境・船舶関連部門)

売上高は38億73百万円と前年同四半期に比べ26億13百万円の減少となっております。また、成約高は26億77百万円(前年同四半期比19億91百万円減)、成約残高は117億82百万円(前年同四半期比71億98百万円減)となり、営業利益は9百万円(前年同四半期比75百万円増)となりました。

## (その他)

売上高は18億32百万円と前年同四半期に比べ9億72百万円の増加となっております。また、成約高は20億15百万円(前年同四半期比7億70百万円増)、成約残高は20億3百万円(前年同四半期比9億67百万円増)となり、営業利益は43百万円(前年同四半期比93百万円増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (イ) 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、331億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億26百万円の増加となりました。主な要因として、売上債権の増加等により流動資産が14億45百万円増加し、子会社清算に伴う資産の売却や投資有価証券の評価替え等により固定資産が5億18百万円減少したことによるものであります。

## (ロ) 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は170億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億83百万円の増加となりました。この主な要因は、仕入債務の増加等により流動負債が12億45百万円増加し、繰延税金負債の減少等により固定負債が1億61百万円減少したことによるものであります。

## (ハ) 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は161億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億57百万円の減少となりました。この結果自己資本比率は48.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年同四半期末と比較して6億58百万円増加の74億15百万円となりました。内訳につきましては、以下の通りであります。

## (イ)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は8億84百万円(前年同四半期比16億95百万円減)となりました。増加の主な内訳は税金等調整前四半期純利益5億82百万円等であり、減少の主な内訳は売上債権の増加額7億92百万円等であります。

## (ロ)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は3億78百万円(前年同四半期比87百万円増)となりました。増加の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入2億12百万円等であり、減少の主な内訳は定期預金の預入による支出3億円、投資有価証券の取得による支出1億95百万円等であります。

## (ハ)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は1億44百万円(前年同四半期比2百万円減)となりました。減少の主な内訳は、配当金の支払1億33百万円等であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、10月31日に修正発表の通り、売上高2,300億円(47.4%増)、営業利益10億円(35.9%増)、経常利益11億70百万円(31.7%増)、当期純利益4億30百万円(16.4%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお当社は、平成23年4月18日開催の取締役会において、子会社である鈴鹿建機株式会社を解散する事を決議し、同社は平成23年5月31日をもって解散し、清算を行っております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,149	5,507
受取手形及び売掛金	14,161	14,953
有価証券	2,593	2,881
商品	297	484
その他	2,395	2,240
貸倒引当金	△38	△64
流動資産合計	24,559	26,004
固定資産		
有形固定資産	3,116	2,993
無形固定資産	53	43
投資その他の資産		
投資有価証券	3,296	2,905
その他	1,442	1,300
貸倒引当金	△224	△76
投資その他の資産合計	4,514	4,129
固定資産合計	7,685	7,166
資産合計	32,245	33,171
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,541	6,329
受託販売未払金	5,109	4,656
短期借入金	1,570	1,570
未払法人税等	194	227
引当金	274	248
その他	2,596	3,500
流動負債合計	15,286	16,531
固定負債		
長期借入金	20	15
引当金	219	181
その他	432	313
固定負債合計	671	510
負債合計	15,957	17,041



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	10,084	10,265
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,647	15,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	169
繰延ヘッジ損益	0	△7
土地再評価差額金	139	139
その他の包括利益累計額合計	578	301
少数株主持分	61	—
純資産合計	16,287	16,130
負債純資産合計	32,245	33,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	78,636	120,479
売上原価	76,149	117,613
売上総利益	2,486	2,866
割賦販売未実現利益戻入額	13	6
差引売上総利益	2,499	2,872
販売費及び一般管理費	2,246	2,260
営業利益	253	611
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	85	111
その他	27	26
営業外収益合計	123	150
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	6	4
営業外費用合計	14	12
経常利益	362	749
特別利益		
負ののれん発生益	—	23
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	23
特別損失		
たな卸資産処分損	—	2
投資有価証券評価損	—	143
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	—
減損損失	—	4
その他	—	39
特別損失合計	8	190
税金等調整前四半期純利益	353	582
法人税、住民税及び事業税	146	225
法人税等調整額	19	41
法人税等合計	166	266
少数株主損益調整前四半期純利益	186	315
少数株主利益	1	—
四半期純利益	185	315

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	186	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△348	△268
繰延ヘッジ損益	3	△8
その他の包括利益合計	△344	△276
四半期包括利益	△158	38
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	38
少数株主に係る四半期包括利益	1	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	353	582
減価償却費	126	127
減損損失	—	4
負ののれん発生益	—	△23
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	143
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
有形固定資産処分損益 (△は益)	—	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△122
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△11
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30	△15
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31	△37
受取利息及び受取配当金	△96	△123
支払利息	8	8
売上債権の増減額 (△は増加)	3,561	△792
たな卸資産の増減額 (△は増加)	157	△187
リース投資資産の増減額 (△は増加)	11	11
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,305	325
未払又は未収消費税等の増減額	△6	17
その他	△157	1,037
小計	2,641	947
利息及び配当金の受取額	96	123
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△149	△178
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,580</b>	<b>884</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△300
有形固定資産の取得による支出	△214	△67
有形固定資産の売却による収入	32	212
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
関係会社株式の取得による支出	—	△38
投資有価証券の取得による支出	△300	△195
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	17	13
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△466</b>	<b>△378</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	860	860
短期借入金の返済による支出	△860	△860
長期借入金の返済による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△2	△5
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△134	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142	△144
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,968	357
現金及び現金同等物の期首残高	4,788	7,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,757	7,415

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,738	6,916	4,632	6,487	77,775	860	78,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,738	6,916	4,632	6,487	77,775	860	78,636
セグメント利益又は損失 (△)	238	△21	151	△66	303	△49	253

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進・営業開発関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	303
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△49
四半期連結損益計算書の営業利益又は損失(△)	253

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,910	8,426	5,436	3,873	118,646	1,832	120,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,910	8,426	5,436	3,873	118,646	1,832	120,479
セグメント利益又は損失 (△)	220	205	132	9	567	43	611

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進・営業開発関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	567
「その他」の区分の利益又は損失(△)	43
四半期連結損益計算書の営業利益又は損失(△)	611

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。